

資料 1 - 2

静岡市 日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート (2回目評価)

1 基本情報 (令和3年6月1日時点)

(1) 概要

事業所 情報	指定年月日	令和 元年 11月 1日
	法人名	ソーシャルインクルー株式会社
	法人所在地	東京都品川区南大井6-25-3
	事業所名	ソーシャルインクルーホーム静岡袖師町
	事業所所在地	静岡市 清水区 袖師町 407-1
	定員 (共同生活援助)	20 人
	定員 (短期入所)	1 人

事業所名
ソーシャルインクルーホーム静岡袖師町
作成年月日
令和3年6月17日

利用状況	障害支援区分、加算対象者	計画		現在		総利用者数		利用終了の理由※ 1
		人数	人	人数	人	人数	人	
	非該当		人		人	16 人		
	区分 1		人		人	16 人		
	区分 2	4	人		人	利用者の最短利用期間		
	区分 3	6	人	3	人	2020/3/8 ~	2020/4/3	
	区分 4 (重度障害者支援加算Ⅱ)	6	人	9	人	か月	27日	
	区分 5 (重度障害者支援加算Ⅱ)	4	人	4	人	利用者の最長利用期間		
	区分 6 (重度障害者支援加算Ⅰ)		人		人	2020/3/8 ~	2021/6/1	
	行動関連項目10点以上※ 2		人		人	15 か月	24日	
	計		人	16	人			

※ 2. 「障害支援区分」に計上した方も含め、該当する方の人数を全て記入してください。

※ 1. 利用期間が最も短い方の終了理由のみを記載してください。

職員配置	配置人員	職種	実人数	常勤換算
		管理者	1 人	0.2 人
	サービス管理責任者	1 人	0.4 人	
	世話人	17 人	6.4 人	
	生活支援員	6 人	3 人	
	夜間支援体制	夜間支援従事者	17 人	
	看護職員の配置	有・無 配置状況	人	人

(2) 現在の利用者の内訳

利用状況	障害支援区分	男性						女性					
		計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
	非該当	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分3	2人	人	人	人	1人	1人	1人	人	人	1人	人	人
	区分4 (重度障害者支援加算Ⅱ)	5人	人	人	2人	2人	1人	3人	人	人	人	3人	人
	区分5 (重度障害者支援加算Ⅱ)	2人	人	人	人	1人	1人	2人	人	1人	人	1人	人
	区分6 (重度障害者支援加算Ⅰ)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	行動関連項目10点以上※2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	計	9人	人	人	2人	4人	3人	6人	人	1人	1人	4人	人
利用者の障害種別		身体 1人		知的 2人		精神 9人		知的・身体 2人		精神・身体 2人			
サービス内訳	GH外の日中活動サービスの利用人数		10人										
	サービス種別 (就労継続支援B型、生活介護等)												
	就労継続支援B型		4人										
	生活介護		6人										
			人										
			人										

(3) 職員の資格等

直接処遇職員（管理者・サビ管以外）の福祉介護関連資格取得、研修受講等状況（1人が複数の資格等に該当する場合、それぞれに重複カウント）

1	社会福祉士	人	11	同行援護従業者養成研修（応用）	人	22	理学療法士	人
2	介護福祉士	人	12	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	人	23	作業療法士	人
3	介護職員実務者研修	人	13	強度行動障害支援者養成研修（実践）	人	24	言語聴覚士	人
4	居宅介護従業者養成研修（旧ヘルパ-1級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の1級含む）	人	14	ガイドヘルパー（全身性障害）・全身性障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	人	25	柔道整復師	人
						26	保育士	人
5	居宅介護職員初任者研修（旧ヘルパ-2級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の2級含む）	7人	15	ガイドヘルパー（重度視覚障害）・視覚障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	人	27	児童指導員任用資格	人
						28	管理栄養士・栄養士	人
6	居宅介護従事者基礎研修（旧ヘルパ-3級相当 障害者居宅介護従業者基礎研修・居宅介護職員基礎研修・ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の3級含む）	人	16	行動援護従業者養成研修・知的障害者移動介護従業者養成研修	人	29	調理師	人
						30	相談支援従事者初任者研修	1人
			17	保健師	人	31	サービス管理責任者等研修（分野別・基礎・実践）	1人
7	重度訪問介護従業者（基礎）	人	18	看護師	人	32	児童発達支援管理責任者	人
8	重度訪問介護従業者（応用）	人	19	准看護師	人	33	その他（認知症実践研修）	1人
9	重度訪問介護従業者（統合）	人	20	精神保健福祉士	人	34	その他（ ）	人
10	同行援護従業者養成研修（一般）	人	21	公認心理師・臨床心理士	人	★ 資格・研修受講者の実人数		8人

2 サービスの提供内容

(地域生活支援部会)

① GH内での日中の過ごし方 (支援内容・標準日程等)	前年度(令和2年度)評価					
<p>※日中別の事業所に行けない方のみご記入ください。</p> <p>利用者数 16人中 6人利用</p> <p>散歩、通院同行、塗り絵、折り紙、映画鑑賞、オセロなど ご利用者様やご家族様・関係機関様のご意向に合わせて対応をさせて頂いております。</p> <p>※標準日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6時頃 起床、体調確認、バイタルチェック ・7時頃 朝食 ・9時頃 リビングにてテレビ鑑賞やオセロなど他利用者様との交流 ・10時頃 通院同行 ・12時頃 昼食 ・14時頃 散歩同行 ・16時頃 入浴介助 ・18時頃 夕食 ・20時頃 リビングにてテレビ鑑賞やオセロなど他利用者様との交流 ・21時頃 就寝準備 ・22時頃 就寝 	<p>評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の種別によっては、スケジュールを明確にしたり、ご本人がわかりやすくなる工夫をしたり、個別の対応をぜひ進めて欲しい。 ・当事業の主旨、目的を踏まえて利用対象者の受入を行うと共に、専門性の高い支援員の育成・配置が必要。利用者の方への対応は、年齢相応の言葉遣いや接し方をお願いしたい。普段と週末の過ごし方、生きがいや達成感を持てる等の工夫に努めていただきたい。 ・ご本人の意向に合わせて日中活動をされているようだが、意思決定支援、意向確認をどのような形で行われているか詳細がわかる計画等があればよい。 ・「お絵かき」・・・子どもの施設ではないので、表現には気をつけていただければと思う。 ・日中活動サービスを利用しない日や休日等の見守りの他、日中活動や余暇支援充実のため積極的な支援をお願いしたい。 ・グループでコミュニケーションをとることや、逆にとりたくない人への配慮等の工夫をしながらメニューを考えていただきたい。必要不可欠な外出は、施設で対応できるようにしていただきたい。(床屋や、行政への申請等) 	<p>評価・要望・助言への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様、ご家族様、相談事業所等関係機関様と連携させて頂き、ご利用者様毎の対応を進めさせて頂きます。 ・権利擁護を踏まえ対応をさせて頂きます。オンライン研修も含め職員のスキルアップに努めて参ります。 ・モニタリングや担当者会議の中でご意向を確認し、支援内容等調整をさせて頂きます。 ・記載に配慮が足りませんでした。誠に申し訳ございません。 ・上述の通りご意向を確認しながら、また新型コロナウイルス感染症の状況も見ながら対応をさせて頂きます。 ・ご利用者様毎に障害特性や精神状態に合わせた声掛け等配慮しながら対応をさせて頂きます。外出支援や訪問診療、訪問歯科なども含めて対応をして参ります。 				
<p>↓前回評価後の改善内容があればご記入ください</p>	<p>今年度(令和3年度)評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1137 1013 1653 1093">評価・要望・助言</th> <th data-bbox="1653 1013 2157 1093">評価・要望・助言への対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1137 1093 1653 1412"> <ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援GHのサービスを利用する方々の特性や状態に合う支援を展開するために支援に関わる職員には研修の受講を進め、専門的なスキルの習得に努めて欲しい。 ・日中支援型のグループホームであるため必要な方の通院同行をお願いしたい。 グループ活動やレクリエーション支援など日中活動の充実については、同サービス並びに他サービス種別事業所などを見学し参考にされてはどうか。 ・本人を真ん中に置いた支援計画を進めていた </td> <td data-bbox="1653 1093 2157 1412"> <p>入社時研修及び毎月の定期ホーム研修につきましては引き続き継続し、支援を実施する職員には助言頂きました通り研修の頻度の見直しや研修の室について今後追及していきたいと思えます。</p> <p>通院同行につきましては現在も実施しておりますので引き続き継続して実施予定です。通院同行の頻度等に関しましても施設・入居者様の状況に応じて都度対応して参ります。</p> <p>日中活動につきましては頻度の見直しの実施、プログラムの立案などを定期的に組みなおし、</p> </td> </tr> </tbody> </table>		評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援GHのサービスを利用する方々の特性や状態に合う支援を展開するために支援に関わる職員には研修の受講を進め、専門的なスキルの習得に努めて欲しい。 ・日中支援型のグループホームであるため必要な方の通院同行をお願いしたい。 グループ活動やレクリエーション支援など日中活動の充実については、同サービス並びに他サービス種別事業所などを見学し参考にされてはどうか。 ・本人を真ん中に置いた支援計画を進めていた 	<p>入社時研修及び毎月の定期ホーム研修につきましては引き続き継続し、支援を実施する職員には助言頂きました通り研修の頻度の見直しや研修の室について今後追及していきたいと思えます。</p> <p>通院同行につきましては現在も実施しておりますので引き続き継続して実施予定です。通院同行の頻度等に関しましても施設・入居者様の状況に応じて都度対応して参ります。</p> <p>日中活動につきましては頻度の見直しの実施、プログラムの立案などを定期的に組みなおし、</p>
評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応					
<ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援GHのサービスを利用する方々の特性や状態に合う支援を展開するために支援に関わる職員には研修の受講を進め、専門的なスキルの習得に努めて欲しい。 ・日中支援型のグループホームであるため必要な方の通院同行をお願いしたい。 グループ活動やレクリエーション支援など日中活動の充実については、同サービス並びに他サービス種別事業所などを見学し参考にされてはどうか。 ・本人を真ん中に置いた支援計画を進めていた 	<p>入社時研修及び毎月の定期ホーム研修につきましては引き続き継続し、支援を実施する職員には助言頂きました通り研修の頻度の見直しや研修の室について今後追及していきたいと思えます。</p> <p>通院同行につきましては現在も実施しておりますので引き続き継続して実施予定です。通院同行の頻度等に関しましても施設・入居者様の状況に応じて都度対応して参ります。</p> <p>日中活動につきましては頻度の見直しの実施、プログラムの立案などを定期的に組みなおし、</p>					

	<p>きたい。本人が主体性をもって行動するために必要な「分かりやすい情報提供」が大切と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き個別性を重視した日中活動のあり方について検討していただきます。 ・外出支援や訪問診療、訪問歯科等の対応をしていただけるのはありがたいです。障害の種別によっては対応に苦慮することもあると思いますので行政や関係機関との連携をして対応する支援員が困らないようにお願いしたい。 	<p>充実した日中生活を行える様に他事業所等の見学も視野に入れ強化を行っていきます。</p>
<p>② 地域生活の支援 (地域との交流状況・外出支援の取組状況等)</p>	<p>前年度(令和2年度)評価</p>	
<p>近くのスーパーや清水駅までなどの外出支援含め、ご利用者の状況に合わせて対応をさせて頂いております。地域との交流については昨年度の評価時同様新型コロナウイルスにて自粛をしておりますが、状況好転後には積極的に地域催し物への参加を考えております。</p>	<p>評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出支援を積極的に行っていただいているようで評価できる。 ・今年度は、感染症対策で対応に苦慮されているようだが、終息後にむけて、地域の情報収集や関係構築に励み、利用者の余暇活動充実に努めて欲しい。 ・ホームスタッフの支援に加えて福祉サービスの支援を活用するなどし、さまざまな社会参加の機会を提案すること。地域住民が障害に対する理解を深め、お互いが地域でどのように繋がり、住民としての役割を担っていくか、本人の意思決定を軸に充実した地域生活の支援を願う。 ・外部支援(ガイドヘルパー・行動援護)等を活用し、余暇支援、社会参加をするようにできればと思う。 ・地域の方の理解を得るため活動を積極的に行ってほしい。 ・居住系のGHなので、地域のお祭りや自治会との関わりなど地域生活らしさを取り入れてもらいたい。清水といえばみなどかつぼれやお祭りに参加する等で地域との交流を深めてもらいたい。 	<p>評価・要望・助言への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有難うございます。引き続き対応して参ります。 ・感染症対策をした上での外出支援を進めて参ります。また、地域の催し物など情報収集を進めて参ります。 ・移動支援や同行援護などご利用者の活用出来るサービスを妨げることが無いように進めさせていただきます。 ・上述の通り、対応させていただきます。 ・新型コロナウイルスにて延期や中止が多いですが、積極的に参加出来るよう情報収集を進めさせていただきます。
<p>↓前回評価後の改善内容があればご記入ください</p>	<p>今年度(令和3年度)評価</p>	
	<p>評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大が顕著に見られる様になってから1年以上が経過しており、慎重な取り組みを進めながらも事業所として創意工夫により少しずつ活動の機会を提供することで利用する方々の生活が豊かになると思われる。 ・移動支援や行動援護など外出支援に関するサービスは、不足しているためGH内の職員が対応できる所については、お願いしたい。 	<p>評価・要望・助言への対応</p> <p>新型コロナウイルスの収束もなかなか見えない中で第一として入居者様及び地域の方々の安全面、感染リスクを一番に考えて参りました。その中でも入居者様の活動の重要性について日々検討しているところになります。助言頂きました通り、コロナ禍においても創意工夫することができれば、できる範囲は広がると思いますので地域とのつながりをはじめ移動支援・行動援護・外出支援が不足しないよう努めて参ります。</p>

・コロナ禍でも本人のホームでの生活が心豊かに過ごせるよう、職員以外に地域で本人を知り、支えてくれるサポーターが増えるよう、地域での交流のきっかけづくりをお願いします。
 ・新型コロナウイルス感染症で地域とのつながりに苦慮されているようだが個人の外出支援は引き続きお願いしたい。

③ 利用者とのコミュニケーション（方法と頻度、行動障害、重症心身障害、医療的ケアのある方への対応等）

前年度（令和2年度）評価

評価・要望・助言

評価・要望・助言への対応

・障害種別や年齢、特性に合わせてコミュニケーションが取れる専門性を磨き、意思決定支援に繋げて欲しい。
 ・知的・発達障害のある人は受診のコミュニケーションが少ない。発信の仕方を音声言語だけに頼らないように、個人に合った手立てで支援を行ってほしい。
 ・体調管理の記録や様子（体調）の変化を訪問看護事業所に充分伝えてほしい。
 ・意思疎通の難しい方への支援についての記載があればよい。
 ・重度の方は対応や指示が職員によって差があったり、対応職員が次々に代わると混乱するため、一貫した対応や対応職員の少数化が必要になってくると思われる。
 ・入所に当たっては、計画相談事業所だけでなく、保護者や日中活動の場の職員との情報共有をお願いしたい。
 ・今後も定期的な時間を取って、全員と話す仕組み及び機会を作っていただきたい。
 ・言語でのコミュニケーション以外の方法でもコミュニケーションはとっているか。

・ご利用者様毎にコミュニケーションの取り方などご家族様や関係機関様にも確認しながら進めさせていただきます。
 ・身振り手振りを含めてご利用者様毎にコミュニケーションの取り方を工夫させていただきます。
 ・業務日誌や個別支援経過書などにも体調について記載をしており、不安点等共有をさせて頂いております。
 ・上述のように身振り手振りを含めコミュニケーションの取り方を工夫させて頂いております。
 ・支援方法については職員間ですり合わせを行わせて頂いております。
 ・ご利用者様が気持ちよく生活が出来るかどうか、色々な方のご意見が必要になりますので幅広くヒアリングをして進めさせて頂くように致します。
 ・お食事はリビングでみなさん一緒に取って頂いており、今後も全員が定期的にコミュニケーションが取れるよう進めさせていただきます。
 ・重度知覚のご利用者様には1日の中でも定期的に手を繋いで廊下を散歩するなどご利用者様毎に対応をさせて頂いております。

毎朝体調確認（バイタルチェック）にて声掛けし、その後も1時間に1回は声掛け（ご利用者様によっては身振り手振りなど）をして体調管理・コミュニケーションを取るようになっています。
 訪問看護ステーションと契約し、月2回の来訪・健康管理やオンコール体制等取っております。看護師にはご利用者様の日々の生活状況含め連携しております。

↓前回評価後の改善内容があればご記入ください

今年度（令和3年度）評価

評価・要望・助言

評価・要望・助言への対応

・職員の資格取得状況や研修の趣向状況を見ると、コミュニケーションをとるための専門性に欠けていると感じる。

定期研修は毎月行っているもののコミュニケーションに対する研修とというのは薄かったと自覚しております。
 今後はコミュニケーション能力を高めるような研修プログラムを取り入れ支援員の知識やスキ

	<ul style="list-style-type: none"> ・又援のめり方、障言特性の理解等について更なる知識やスキルを高めるよう努めてください。 ・精神科訪問看護の利用については、それぞれの主治医、医療機関と連携し、適切な頻度、内容で実施されることを期待します。 ・個々の職員の別による対応のムラや、支援者としての対応力・知識・価値観などの課題について指摘する声があります。適切な人員の配置、教育研修の実施等をお願いします。 ・いろいろな障害の方の対応に苦慮した場合は対応したスタッフだけが困らぬように情報を共有して統一した対応をお願いしたい。また計画相談等の関係機関にも相談してスタッフが長く働けるように配慮してほしい。 	<p>ルを高めていきたいと思います。</p> <p>採用に関しましては無資格者や未経験者というところではかく有資格者や経験者の確保を図ることで施設全体の質を高めて参ります。</p> <p>実際の支援に関しましても対応のムラが無くなる様、支援員全員が同じ方向を向き対応が実施できるよう統率も行っています。</p>
--	---	---

<p>④ 短期入所の利用状況 (緊急時の受入状況、利用目的等も合わせて記載してください)</p> <p>月平均 延べ利用人数 5.6 人</p> <p>ご家族様のレスパイトにて定期的にご利用頂いている方やGH (ご自宅以外の共同生活) の練習にてご利用頂いております。</p>	前年度 (令和2年度) 評価	
	<p style="text-align: center;">評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の短期入所ニーズは、かなり高いと感じるので、積極的に利用を進めて欲しい。 ・GH利用者同様、安心・安全・充実した時間を過ごせるようなショートステイの支援をお願いしたい。 ・(B様)の例、他県からの緊急対応案件というのは法人の都合だと思う。地域のためのグループホーム(短期入所)であれば、市内の利用者のために確保していただきたい。 ・緊急時の短期入所の受入れ先として期待している。 ・入所施設の緊急時の短期入所の利用は、事前に短期入所の利用が条件となっているが、貴事業所の場合の利用方法について関係機関への周知をお願いしたい。 ・緊急時の短期入所から、GH入所することができ、本人や相談支援事業所も安心できたと思われる。老障介護の問題は全国的な課題となっているので、柔軟に対応していただきたい。 	<p style="text-align: center;">評価・要望・助言への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内周知が足りず申し訳ございません。開かれた施設となるよう積極的にご案内して参ります。 ・ご利用者様、ご家族様、関係機関様と情報共有をさせて頂き、しっかりとご支援させて頂きます。 ・今後は地域に根差した形でご利用頂けるようご案内させて頂きます。 ・困っていらっしゃる方の受け皿として積極的にご案内させて頂きます。 ・緊急時の受け入れについては事前の利用有無は条件ではありませんが、ご情報を頂いた上でしっかりとご支援が出来るかどうかご相談をさせて頂いております。 ・引き続きご利用者様、ご家族様、関係機関様と連携させて頂き、より良い形のお手伝いが出来ればと思います。

<p>↓前回評価後の改善内容があればご記入ください</p>	今年度 (令和3年度) 評価	
	<p style="text-align: center;">評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しになるが、緊急対応である短期入所の受け入れには、通常の利用以上に職員の専門性が求められる為、事業所として積極的に職員のスキルアップをバックアップして欲しい。 ・緊急時の受入について事前の利用の有無を前提としないことは、利用者、関係機関にとってありがたいと思う。 ・利用者同士の関係性にも配慮し、ホームでの体験が楽しかったと前向きな気持ちになれるような本人支援をお願いします。 	<p style="text-align: center;">評価・要望・助言への対応</p> <p>短期入所に関しましては従来通り積極的に受け入れを行って参ります。</p> <p>入居を前提とされた方を始め、レスパイト、ユーザー体験、ご家族の急な病気等、幅広く受け入れていける体制を今後も継続し、重度の方の対応や、緊急時の対応にも柔軟に対応するべく人員の部分でも増員を検討し今後とも取り組んでいきます。</p> <p>上記にも記載しましたとおり職員の専門性を高</p>

	<p>・緊急時の短期入所の受け入れ先として期待しています。</p> <p>めるべく研修も強化して参ります。</p>	
<p>⑤ 苦情解決の取組（苦情の内容・対応等）</p>	<p>前年度（令和2年度）評価</p>	
<p>ご本人様、ご家族様、相談員様など関係機関様と連携をしながら進めさせて頂いております。</p> <p>①ご利用者様同士の金銭トラブルについて、ご利用者様双方からの聞き取り、それぞれ関係機関様を含めた担当者会議を経て、1名は別ホームへの転居、1名は退去となりました。</p> <p>②ご利用者様と職員のコミュニケーションのトラブルについて、ご利用者様のご機嫌等にて普段の冗談を真に受けてしまった。謝罪をし、関係機関様を含めた担当者会議を経て、今後のコミュニケーションの取り方について全職員へ周知。</p>	<p>評価・要望・助言</p>	<p>評価・要望・助言への対応</p>
<p>↓前回評価後の改善内容があればご記入ください</p>	<p>今年度（令和3年度）評価</p>	
	<p>評価・要望・助言</p> <p>・居住場所は、地域生活のベースであり、しっかりとしたアセスメントに基づいた支援をお願いしたい。</p> <p>・トラブルの原因は、多方面からの視点で調査検証してください。</p> <p>・利用者及び家族は長期で利用するつもりで入所しています。なるべく気持ちよく利用していただけるよう努めてください。苦情の解決が難しい場合は相談支援事業所（計画・委託）に相談してください。</p> <p>・トラブルへの対処については、事業所単独で判断せず、関係各所と協働し適切な処遇が担保されるよう実施してください。</p> <p>・GH内だけで解決するのではなく広く関係機関と連携をして対応をしているようで良い。対応したスタッフだけが困るのではなく情報共有をして統一した対応をし辞めてしまうスタッフが出ないように配慮してください。</p>	<p>評価・要望・助言への対応</p> <p>苦情窓口やフローに関しましては適切に設置しております。</p> <p>苦情発生時には早急かつ適切に対応できるよう真摯に対応して参りますが、根本的に苦情・クレームを無くして行くことが重要だと思われまますので、運営フローをしっかりと見直していきます。</p> <p>事業所単独での判断は二次クレームにもつながりますので関係各所と協働し苦情解決に努めて参ります。</p> <p>個人に対しての苦情などに関しまして職員の配慮も行ったうえで統一した対応を行ってまいります。</p>

3 その他 自立支援協議会委員・地域生活支援部会員・関係機関からの意見・要望・助言等

静岡県 日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート (2回目評価)

1 基本情報 (令和 3年 6月 1日時点)

(1) 概要

事業所情報	指定年月日	令和 2年 4月 1日
	法人名	社会福祉法人 恵和会
	法人所在地	静岡県清水区長崎新田311
	事業所名	グランベア瀬名
	事業所所在地	静岡県葵区瀬名1丁目31-3
	定員 (共同生活援助)	20 人
	定員 (短期入所)	2 人

事業所名
グランベア瀬名
作成年月日
令和3年6月11日

利用状況	障害支援区分、加算対象者	計画	現在	総利用者数	利用終了の理由※1
	非該当	0 人	0 人		
区分 1	0 人	0 人		21 人	
区分 2	0 人	0 人		利用者の最短利用期間	
区分 3	11 人	7 人		令和2年4月 ~ 令和2年6月	県外から来られた利用者であり家族の支援がやや負担になってきたことや、家族とホームの利用者への支援方針の違いも出てきており、家族希望での退所となる。
区分 4 (重度障害者支援加算Ⅱ)	3 人	6 人		2 か月 29 日	
区分 5 (重度障害者支援加算Ⅱ)	3 人	4 人		利用者の最長利用期間	
区分 6 (重度障害者支援加算Ⅰ)	3 人	3 人		令和2年4月 ~ 令和3年6月	
行動関連項目10点以上※2		4 人		14 か月 11 日	
計	20 人	20 人			

※2. 「障害支援区分」に計上した方も含め、該当する方の人数を全て記入してください。

※1. 利用期間が最も短い方の終了理由のみを記載してください。

職員配置	配置人員	職種	実人数	常勤換算
		管理者	1 人	1 人
サービス管理責任者	1 人	1 人		
世話人	9 人	6.6 人		
生活支援員	9 人	3.2 人		
夜間支援体制	夜間支援従事者	0 人	0 人	
看護職員の配置	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	配置状況	3 人	1 人

(2) 現在の利用者の内訳

利用状況	障害支援区分	男性					女性						
		計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
	非該当	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	区分1	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	区分2	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	区分3	2人	0人	1人	0人	1人	0人	5人	1人	1人	0人	1人	2人
	区分4 (重度障害者支援加算Ⅱ)	4人	1人	0人	1人	1人	1人	2人	0人	1人	0人	1人	0人
	区分5 (重度障害者支援加算Ⅱ)	4人	0人	1人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	区分6 (重度障害者支援加算Ⅰ)	2人	2人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	行動関連項目10点以上※2	3人	3人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	計	12人	3人	2人	2人	4人	1人	8人	3人	2人	0人	2人	2人
利用者の障害種別			身体	4人	知的	人	精神	人					
GH外の日中活動サービスの利用人数	サービス種別 (就労継続支援B型、生活介護等)	6人											
	生活介護	2人											
	就労支援B型	3人											
	就労支援A型	1人											
		人											
		人											

(3) 職員の資格等

直接処遇職員（管理者・サビ管以外）の福祉介護関連資格取得、研修受講等状況（1人が複数の資格等に該当する場合、それぞれに重複カウント）

1	社会福祉士	0人	11	同行援護従業者養成研修（応用）	0人	22	理学療法士	0人
2	介護福祉士	5人	12	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	1人	23	作業療法士	0人
3	介護職員実務者研修	1人	13	強度行動障害支援者養成研修（実践）	1人	24	言語聴覚士	0人
4	居宅介護従業者養成研修（旧ヘルパ-1級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の1級含む）	0人	14	ガイドヘルパー（全身性障害）・全身性障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	2人	25	柔道整復師	0人
						26	保育士	0人
5	居宅介護職員初任者研修（旧ヘルパ-2級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の2級含む）	1人	15	ガイドヘルパー（重度視覚障害）・視覚障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	0人	27	児童指導員任用資格	0人
						28	管理栄養士・栄養士	0人
6	居宅介護従事者基礎研修（旧ヘルパ-3級相当 障害者居宅介護従業者基礎研修・居宅介護職員基礎研修・ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の3級含む）	0人	16	行動援護従業者養成研修・知的障害者移動介護従業者養成研修	0人	29	調理師	0人
						30	相談支援従事者初任者研修	0人
			17	保健師	0人	31	サービス管理責任者等研修（分野別・基礎・実践）	0人
7	重度訪問介護従業者（基礎）	1人	18	看護師	3人	32	児童発達支援管理責任者	0人
8	重度訪問介護従業者（応用）	1人	19	准看護師	0人	33	その他（ ）	人
9	重度訪問介護従業者（統合）	0人	20	精神保健福祉士	0人	34	その他（ ）	人
10	同行援護従業者養成研修（一般）	0人	21	公認心理師・臨床心理士	0人	★ 資格・研修受講者の実人数		16人

(地域生活支援部会)

2 サービスの提供内容

① GH内での日中の過ごし方 (支援内容・標準日程等)

※日中別の事業所に行けない方のみご記入ください。

利用者数 20人中 0人利用

現在利用者20名全て日中は別の事業所に活動に行かれています。活動先がない時には現在新型コロナウイルス感染対策の為制限はしていますが、GH付近への散歩や買い物への同行や職員と一緒にボードゲームなど簡単になってしましますが余暇支援をしています。

↓前回評価後の改善内容があればご記入ください

個別支援計画に基づいた支援のとりくみをしています。例をあげると職員と一緒にお小遣い帳の記入、電車を見に行く、DVDの鑑賞会などを行っています。

前年度(令和2年度)評価

評価・要望・助言

- ・家事など自立をサポートする支援は良い。
- ・休日や夜間など、利用者が揃っている時の余暇活動やイベントなど、充実させていって欲しい。
- ・平日の過ごし方、休日の過ごし方は違うと思う。ご本人の意向に合わせて日中活動をされているようだが、意思決定支援、意向確認をどのような形で行われているか詳細がわかる計画等があればよい。
- ・利用者の過ごし方は多様で、その多様性を重視しながら、あくまでも利用者を中心とした支援を心掛けてほしい。週末の活動は支援スタッフと利用者が相談しながら決めることも重要な取組。年齢にあった内容、選択肢がいろいろあること、主体性を大切にすることも重要。
- ・個別支援に対応したメニューを考えてほしい。
- ・日中活動に参加できない方に対しての日中活動の充実をお願いしたい。

評価・要望・助言への対応

利用者の多様性を重視し、個々の障害の特性を理解しながら日々の支援に取り組んでいきたいと思えます。今後の課題としては職員の知的、発達障害のある方への意思決定支援を研修等で理解を深めて実践していきたいと思えます。

今年度(令和3年度)評価

評価・要望・助言

- ・日中は、基本的に全員外部に出ているとの事だが、日中活動については、スケジュールが明確になっており、良い。
- ・コロナで外出活動も制限を受ける中、利用者の方のストレスもあるかと思われ、GH内での行事等楽しみが増えると良い。
- ・当事者の意思決定能力は、支援者の支援力によって変化するので「わかりやすいコミュニケーション」手段を駆使して、当事者の思いを引き出せるよう期待します。
- ・今後も個別性に配慮した支援について取り組んで頂けたらと思えます。
- ・意思決定支援の研修はどのように行いましたか。
- ・個々の話をよく聞き状況を把握しながら日々の支援に取り組まれているので今後も個々に合わせた支援を積み重ねてください。発達障害の研修を行いスタッフで統一された支援ができると良い。

評価・要望・助言への対応

利用者中心の支援を基本として日々の支援に入るようにスタッフで統一していきます。意思決定支援の研修はまずは職員全員へのガイドラインの前にサービス管理責任者が意思決定支援責任者の育成を行っています。

② 地域生活の支援 (地域との交流状況・外出支援の取組状況等)	前年度(令和2年度)評価	
<p>新型コロナウイルス感染拡大の観点から地域の集まり等には積極的な参加はできていませんが付近の催しなど利用者人数、時間など工夫し行かせていただく事はありました。地域住民の手伝いの元GHにて畑での農園作業を一緒に行い、そちらで出来た野菜をGHで調理し利用者に提供しています。また月に1~2回たい焼き屋を招いて屋台販売を行い利用者、地域住民が購入できるようにしています。外出支援は移動支援をつかい、外出されています。</p>	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流が計画されているのはとても良い。地域の中で余暇活動が楽しめるという場面を増やして欲しい。 ・畑作りから無人販売へ、地域の集まりへの参加など地域との接点がかかりとしている。 ・GHの利用者も地域の一員として公的な福祉サービスだけでなく地域住民や町会の主催する地域活動につなげる視点を大事にして、日常的なつき合いにもつながっていくことを期待する。 ・生活の場として地域住民の理解を得るための活動はとても大切である。実施至っていないが、利用者と住民の交流に関する計画は、評価できる。 ・グループ活動以外の個別での地域との交流を今後も取り入れていただきたい。 ・外部支援の活用、ガイドヘルパー、行動援護等はどのようになっているか。 ・社会参加、余暇支援についてどのように考えているか。 	<p>定期的に移動支援を利用し外出支援していません。社会参加、余暇支援はGHに住まわっている利用者には必要なことだと思いますので引き続き支援していきます。今後も地域との交流をしっかりとしていきたいです。</p>
↓前回評価後の改善内容があればご記入ください	今年度(令和3年度)評価	
<p>社会参加や余暇支援の充実にはいたっていない為、自粛等いろいろ制限のある中でGHで何が出来るか考えていきたいです。利用者と接する機会を増やすため付近の散歩や簡単な遊びを一緒にする機会を増やすよう取り組みました。</p>	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても事業所独自の創意工夫により地域との交流や外出の機会が保たれており、良い。 ・コロナ禍で長期間に渡り活動が制限されている中、ワクチン接種の効果に期待し、地域での交流や余暇支援への取組に期待します。 ・感染予防に配慮して定期的に移動支援を利用して行われていることは評価できる。今後も地域とのつながりを大切に活動してほしい。 	<p>引き続きコロナ禍の中で出来ることを考えながら対応していきたいです。地域との交流ではホーム畑で取れた野菜の無人販売などを検討中です。</p>

③ 利用者とのコミュニケーション（方法と頻度、行動障害、重症心身障害、医療的ケアのある方への対応等）	前年度（令和2年度）評価	
<p>個々の利用者によってコミュニケーションの取り方が変わってきますが、日々の挨拶から始まり車イスの方には目線を合わせ、重度知的障がいの方にはあいさつ+ハイタッチや絵カードを作成し取り組んでいます。強度行動障がい支援者研修を職員に受けてもらい支援のアドバイスをもらっています。医療的ケアについては看護師が基本的に平日の日中しかいない為訪問看護サービスを使っていたことがあります。</p>	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの支援に工夫されていて良い。 ・ジェスチャーカードの取り組みなど参考になった。 ・ハートとテクニックの両面で利用者とその家族を守ってほしい。 ・自己決定する力をはぐくみ大切にするコミュニケーションのとり方を考慮して取り組んでいただきたい。 ・自閉症の方への視覚支援、構造化を行った方がよいと思われる。コミュニケーションは相互のやり取りのため、個別での支援をお願いしたい。 ・コミュニケーションの難しい方とのコミュニケーション方法に工夫がみられ良いと感じる。重度の方には対応や指示が職員によって差があったり、対応職員が次々に代わると混乱するため、一貫した対応や対応職員の少数化が必要になってくると思われる。入所に当たっては、計画相談事業所だけでなく、保護者や日中活動の場の職員との情報共有をお願いしたい。 ・今後も定期的な時間を取って、全員と話す仕組み及び機会を作っていたきたい。 	<p>個々の利用者によってコミュニケーションの取り方が変わってきますがその方の障害の特性を理解し、職員間でコミュニケーションの取り方を統一して日々取り組んでいきたいです。研修で外部から講師をお願いして勉強する機会を作りたいです。</p>
↓前回評価後の改善内容があればご記入ください	今年度（令和3年度）評価	
<p>重度障がいの方への支援のため職員に外部研修を受けてもらい支援におとしてもらっています。カンファレンス以外にも定期的に会議を開き職員間での各利用者の個別対応の統一をはかるように取り組んでいます。</p>	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修を受講するなど、前向きに取り組む姿勢が良い。 ・強度行動障害の研修の受講をしていることについて評価できる。今後も職員の受講を進めてほしい。 ・改善への取組が実践できていると思います。 ・研修の機会を計画的に設け実施していくことは大変重要なことだと思います。今後も引き続きお願い致します。 ・外部研修等積極的に研修を行ってください。 ・緘黙傾向のある方等の特性に応じて本人からの言葉を待つのではなくスタッフからの声掛け支援をお願いしたい。特に体調の変化はスタッフ全員で情報共有し看護師につなぐ等の対応を忘れずにお願いしたい。 	<p>外部研修への積極的な参加を目標に取り組んでいきたいです。自ら発語が中々出ない利用者方も多くそういったサインを見逃さないように支援をしていきたいです。</p>

④ 短期入所の利用状況（緊急時の受入状況、利用目的等も合わせて記載してください）	前年度（令和2年度）評価	
<p>月平均 延べ利用人数 3人</p> <p>令和2年秋口より本格的にスタートしましたがコロナウイルス感染拡大のところで新規利用者受け入れに慎重になった部分もありました。主な利用目的は家族様のレスパイトの意味合いが強く週末利用の希望がほとんどでした。緊急時の受け入れについての実績としては病院入院から在宅復帰困難な利用者様をロングショートとして半年近く利用されたケースで1件のみと少ないですが要請があれば利用者の状態にもよりますが随時対応する所存です。</p>	<p>評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期間にほぼ満床となっているのは、利用者を選ばないとか、人気の高い証拠と思われる。大変評価できる。 ・短期入所は、地域で暮らす障害者に欠かせない重要な資源であり、可能な限り、受け入れをお願いしたい。 ・短期入所スタートの折にも、GH利用者への分かりやすい丁寧な説明、配慮をお願いしたい。 ・緊急時の短期入所の受け入れ先として期待している。 <p>入所施設の緊急時の短期入所の利用は、事前に短期入所の利用が条件となっているが、貴事業所の場合の利用方法について関係機関への周知をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と連携し、今後も取り組んでいただきたい。 	<p>評価・要望・助言への対応</p> <p>外部からも短期入所の問い合わせがとても多くあらためて短期入所の必要性を感じさせられています。出来るだけ早くスタートしていきGH利用者の理解配慮を忘れずに受け入れていきたいと考えております。</p>
↓前回評価後の改善内容があればご記入ください	今年度（令和3年度）評価	
<p>短期入所スタートにおいてGH利用者への事前説明をおこない理解を得るように個別での説明を行いました。各相談支援事業所にも随時活動状況の連絡を心がけました。</p>	<p>評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の貴重な資源の一つとして情報を開示し、積極的に運営されており、良い。 ・ショートステイの受入が始まったとすることで、緊急時の受け入れも継続してお願いできるとありがたい。 ・改善への取組が実践できていると思います。 ・今後も引き続き前向きな取り組みを期待いたします。 ・短期入所の必要性をご理解いただきありがとうございます。今後も積極的に受け入れをお願いします。 ・大変ではあるだろうが緊急時の受け入れ先として期待しています。よろしく申し上げます。 	<p>評価・要望・助言への対応</p> <p>短期入所の必要性を理解し、引き続き積極的な受け入れを目指していきます。</p>

⑤ 苦情解決の取組（苦情の内容・対応等）	J	
<p>苦情窓口を作り責任書を配置し、苦情があった際には直ぐに対応できるようにしています。利用者、家族、外部事業所への接遇・マナー（言葉遣い、礼節、電話対応、来客対応）を会議等で議題に出し向上に努めています。</p>	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
↓前回評価後の改善内容があればご記入ください	今年度（令和3年度）評価	
	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として苦情への取り組みが明確になっており、良い。 ・良い評判を聞いております。引き続き利用者個々へのきめ細かいサービスと職員のスキルアップを心がけてください。 ・苦情があった際には真摯に受け止め対応をお願いしたい。また問題解決が難しい場合は他機関に相談する事も忘れずにお願いします。 	<p>引き続き苦情・意見等あった場合は真摯に受け止め対応していきます。今後の課題としては職員の電話対応が不十分なのでそちらを重点的に指導していきます。</p>

3 その他 自立支援協議会委員・地域生活支援部会員・関係機関からの意見・要望・助言等

静岡市 日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート（初回評価）

1 基本情報（令和3年6月17日時点）

(1) 概要

事業所 情報	指定年月日	令和3年2月1日
	法人名	ソーシャルインクルー株式会社
	法人所在地	東京都品川区南大井6-25-3 いちご大森ビル2階
	事業所名	ソーシャルインクルーホーム静岡西島
	事業所所在地	〒422-8045 静岡県静岡市駿河区西島276番地の3
	定員（共同生活援助）	20 人
	定員（短期入所）	2 人

事業所名
ソーシャルインクルーホーム静岡西島
作成年月日
令和3年6月17日

利用状況	障害支援区分、加算対象者	計画		現在		総利用者数		利用終了の理由※1
	非該当			人		人	7 人	
区分1			人		人			
区分2		4	人		人	利用者の最短利用期間		
区分3		6	人	1	人	令和3年6月7日	～令和3年6月17日	
区分4（重度障害者支援加算Ⅱ）		6	人	2	人	0 か月 1 1 日		
区分5（重度障害者支援加算Ⅱ）		4	人	2	人	利用者の最長利用期間		
区分6（重度障害者支援加算Ⅰ）			人	2	人	令和3年3月1日	～令和3年6月17日	
行動関連項目10点以上※2					人	3 か月 17 日		
計		20	人	7	人			

※2. 「障害支援区分」に計上した方も含め、該当する方の人数を全て記入してください。

※1. 利用期間が最も短い方の終了理由のみを記載してください。

職員配置	配置人員	職種	実人数	常勤換算
		管理者	1 人	0.2 人
サービス管理責任者	1 人	0.2 人		
世話人	12 人	6.7 人		
生活支援員	7 人	2.9 人		
夜間支援体制	夜間支援従事者	14 人		
看護職員の配置	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 配置状況	人	人	

(2) 現在の利用者の内訳

利用状況	障害支援区分、加算対象者	男性						女性					
		計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
	非該当	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分3	1人	1人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分4 (重度障害者支援加算Ⅱ)	1人	人	1人	人	人	人	1人	人	人	人	1人	人
	区分5 (重度障害者支援加算Ⅱ)	2人	人	人	人	人	2人	人	人	人	人	人	人
	区分6 (重度障害者支援加算Ⅰ)	2人	1人	人	1人	人	人	人	人	人	人	人	人
	行動関連項目10点以上※2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	計	6人	人	人	人	人	人	1人	人	人	人	人	人
利用者の障害種別		身体 5人		知的 0人		精神 2人							
(サービスの内訳)	GH外の日中活動サービスの利用人数		6人										
	サービス種別 (就労継続支援B型、生活介護等)												
	デイケア		1人										
	生活介護		1人										
	放課後デイサービス		1人										
	就労継続支援B型		1人										
	就労継続支援A型		1人										
	一般就労		1人										

(3) 職員の資格等

直接処遇職員（管理者・サビ管以外）の福祉介護関連資格取得、研修受講等状況（1人が複数の資格等に該当する場合、それぞれに重複カウント）

1	社会福祉士	人	11	同行援護従業者養成研修（応用）	人	22	理学療法士	人
2	介護福祉士	人	12	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	人	23	作業療法士	人
3	介護職員実務者研修	3人	13	強度行動障害支援者養成研修（実践）	人	24	言語聴覚士	人
4	居宅介護従業者養成研修（旧ヘルパ-1級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の1級含む）	人	14	ガイドヘルパー（全身性障害）・全身性障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	人	25	柔道整復師	人
						26	保育士	2人
5	居宅介護職員初任者研修（旧ヘルパ-2級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の2級含む）	5人	15	ガイドヘルパー（重度視覚障害）・視覚障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	人	27	児童指導員任用資格	人
						28	管理栄養士・栄養士	2人
6	居宅介護従事者基礎研修（旧ヘルパ-3級相当 障害者居宅介護従業者基礎研修・居宅介護職員基礎研修・ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の3級含む）	人	16	行動援護従業者養成研修・知的障害者移動介護従業者養成研修	人	29	調理師	1人
						30	相談支援従事者初任者研修	人
			17	保健師	人	31	サービス管理責任者等研修（分野別・基礎・実践）	人
7	重度訪問介護従業者（基礎）	人	18	看護師	人	32	児童発達支援管理責任者	人
8	重度訪問介護従業者（応用）	人	19	准看護師	1人	33	その他（ ）	人
9	重度訪問介護従業者（統合）	人	20	精神保健福祉士	人	34	その他（ ）	人
10	同行援護従業者養成研修（一般）	人	21	公認心理師・臨床心理士	人	★ 資格・研修受講者の実人数		人

2 サービスの提供内容

(地域生活支援部会)

① GH内での日中の過ごし方 (支援内容・標準日程等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>※日中別の事業所に行けない方のみご記入ください。</p> <p>利用者数 7人中 1人利用</p> <p>ペーパークラフトを行う。ご自身のゲーム端末でゲームをされる等をして過ごされております。</p> <p>※標準日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6時頃 起床、体調確認、バイタルチェック ・7時頃 朝食 ・9時頃 リビングにてテレビ鑑賞やペーパークラフトなど職員との交流 ・12時頃 昼食 ・14時頃 散歩に行かれる。おやつを召し上がる等 ・16時頃 入浴 ・18時頃 夕食 	<p>評価・要望・助言</p> <p>・日中サービス支援型GHとして、今後、日中もGHで過ごす方が複数になる事も十分に予想されるので、それぞれの利用者のニーズにふさわしい支援が出来る様、職員の専門性を向上させ、正しいアセスメントに基づく日課の構築が出来る様にしていきたい。</p> <p>・車椅子の方の入浴支援を基本的に毎日されているとのこと利用者の方の生活の質が保たれていると感じました。</p> <p>・ゆるい生活リズム感が日程のベースになっていることで、個々のオリジナルな生活が合わせやすいのかなと感じる。が、無難な対応が選択の機会や体験・経験のチャンスを無くすこともあることを考慮して日々の生活日程を整える工夫が必要。</p> <p>・1名の方に対してその日にいるスタッフ皆での対応が見られました。よく配慮されていました。今後もよろしくをお願いします。</p>	<p>評価・要望・助言への対応</p> <p>現在はGH内で過ごされる方は1名しかいませんが、今後の受け入れとしては外出のできない方の入居が予測されます。単調とした施設内や自室のみでの生活にならないようアセスメントに沿った日課を提供できるよう個別性に特化したアプローチを今後行って参ります。</p> <p>入浴に関して弊社の理想としての頻度は毎日というところに指標をおいておりますので機械浴の方を始め、入浴に対して拒否がある方に対してのアプローチ方法をしっかりと施設内共有し今後ともご利用者様の生活の質の維持を行って参ります。</p>
<p>② 地域生活の支援 (地域との交流状況・外出支援の取組状況等)</p> <p>外出支援利用者 7人中5人</p> <p>施設近隣の散歩同行、定期通院の通院同行、買いもの同行等外出の支援も行っております。</p> <p>地域との交流については現在新型コロナウイルスの影響にて自粛をしております。状況好転後には積極的に地域の催し物への参加を考えております。</p>	<p>評価・要望・助言</p> <p>・外出支援を利用される方が多いようですが、新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種状況などにより、可能な範囲でなるべく早期に活動が出来る様にして欲しい。</p> <p>・定期通院以外の体調不良時の対応もお願いしたい。</p> <p>・通院、散歩、買い物などへの同行、社会参加への支援のみならず、利用者が安心感をもって生活を続けられる支援が大事だと思います。</p> <p>・通院等の必要性及び利用者の希望に沿った外出支援をやっていただいている点はとても良いと思います。</p> <p>・通院同行は毎日の行動が解っているから伝える事が出来ると思います。ご家族や関係機関とも情報共有して安定した生活が出来るようお願いしたい。</p>	<p>評価・要望・助言への対応</p> <p>外出支援に関しまして前記にもあります通り、新型コロナウイルスの影響を受けて自粛している次第になります。今後、緊急事態宣言や蔓延防止措置の解除等に伴い早期に活動ができる段取りを確保してまいります。</p> <p>定期通院時の同行は引き続きもちろんのこと、体調不良時に関しましてでも迅速に対応できるよう採用に注力し安全面という部分でも強化して参りたいと思っております。</p> <p>今後も継続しご家族様や関係機関と情報共有を行いニーズに合わせた対応ができるよう精進して参ります。</p>

③ 利用者とのコミュニケーション（方法と頻度、行動障害、重症心身障害、医療的ケアのある方への対応等）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>ご利用者様に寄り添った声かけでコミュニケーションを図っております。毎朝バイタルの確認を行い、ご利用者様の日々の細かな変化に気を配っております。</p> <p>訪問看護ステーションと契約し、月2回の来訪・健康管理やオンコール体制等取っております。看護師にはご利用者様の日々の生活状況含め連携しております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職との連携は必要不可欠だが、職員の専門性向上にも前向きに取り組んで欲しい。 ・強度行動障害の方の受入も期待したいので、職員の強度行動障害研修の受講をお願いしたい。 ・現在は知的障がいのある利用者の数は0人ですが、ことば以外の方法で意思疎通を図る人への配慮として、様々な工夫や職員のスキルアップが求められます。個々の利用者にあったツールを活用しながら思いを感じていくことが重要だと思います。 ・看護師が来所した際、利用者と対面してしているでしょうか。 ・日中出かけている方が多いと思いますが、普段からコミュニケーションをとっていただけたらと思います。 ・ご利用者様に寄り添った声かけでコミュニケーション ・精神科訪問看護の利用については、それぞれの主治医、医療機関と連携し、適切な頻度・内容で実施されることを期待します。 ・スタッフの教育研修の機会を整理し実施していただきたいと思います。 ・利用してよかったと聞き笑顔が増えてきた方もいましたので大変ありがたいです。今後は利用者が多くなってきても笑顔が見られるような対応をお願いしたい。 	<p>職員の専門性に関しましては弊社としても課題と感じている次第になります。現在、強度行動障害の方を今後前向きに受け入れていくために男性スタッフの採用にも目を向け取り組んでおります。強度行動障害の研修受講に関しましては職員から受講希望の声も上がっており弊社としても職員に積極的に受講して頂きたいと思っております。</p> <p>コミュニケーション能力に関しまして今後継続して研修が必要だと考えております。</p> <p>一人ひとりに寄り添ったコミュニケーションを意識してはおりますが、今後は細かな部分(声掛けの頻度、目線、適正な敬語、表情等)を意識してコミュニケーションできるように対人的な研修も取り入れていきたいと思っております。</p>
④ 短期入所の利用状況（緊急時の受入状況、利用目的等も合わせて記載してください）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>月平均 延べ利用人数 8.2人</p> <p>A様はご家族のレスパイトの為、月に1回程度継続的にご利用されています。 B様は将来的にグループホームの入居を希望されており、ホームの生活に慣れる目的で定期的にご利用されています。</p> <p style="text-align: right;">4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対応に苦慮すると思うが、短期入所は、地域生活を維持するために重要な資源であるため、可能な限り、利用を継続させて欲しい。 ・定期的に短期入所の利用があり短期入所の活用がされていることが分かりますが、固定した方だけでなく多くの方が利用できるような配慮をお願いしたい。 ・障がいのある人の地域生活を支える必須の福祉資源であるという認識の下、家族・当事者、相談機関等に応える機能の役割を今後も果たして下さい。 ・重度の方も積極的に受け入れていただきたい。 ・ショートステイはニーズが多く、多様な事情に応じたスムーズな利用ができるよう期待いたします。 ・引き続きレスパイトケア、ユーザー体験について取り組んでください。 ・緊急時の受け入れは大変だと思いますが期待しています。 	<p>短期入所に関しましては従来通り積極的に受け入れを行って参ります。</p> <p>入居を前提とされた方を始め、レスパイト、ユーザー体験、ご家族の急な病気等、幅広く受け入れていける体制を今後も継続し、重度の方の対応や、緊急時の対応にも柔軟に対応するべく人員の部分でも増員を検討し今後とも取り組んでいきます。</p>

⑤ 苦情解決の取組（苦情の内容・対応等）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>ご本人様、ご家族様、相談員様など関係機関様と連携をしながら進めさせて頂いております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対応する体制が出来ているので、出来る限り誠意を持って対応し、GHの利用が継続できる様、努めて欲しい。 ・苦情内容の共通した理解・認識が本部及び事業所職員にあること。関係機関を交えた十分な検証と対応が重要と考えます。 ・件数はどの程度あったでしょうか。 ・トラブルへの対処については、事業所単独で判断せず、関係各所と協働し適切な処遇が担保されるよう実施してください。 ・多くの方と連携して苦情解決にあたる事を心がけている事が良い。 	<p>苦情窓口やフローに関しましては適切に設置しております。</p> <p>苦情発生時には早急かつ適切に対応できるよう真摯に対応して参りますが、根本的に苦情・クレームを無くして行くことが重要だと思われまますので、運営フローをしっかりと見直していきます。</p> <p>左記にもあります通り、事業所単独での判断は二次クレームにもつながりますので関係各所と協働し苦情解決に努めて参ります。</p>

3 その他 自立支援協議会委員・地域生活支援部会員・関係機関からの意見・要望・助言等

<p>・職員の研修等を積極的に実施してください</p>

静岡市 日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート（初回評価）

1 基本情報（令和3年6月15日時点）

(1) 概要

事業所情報	指定年月日	令和 3 年 4 月 1 日
	法人名	特定非営利活動法人たからじま
	法人所在地	静岡市清水区袖師町266番地の3
	事業所名	そ〜れ
	事業所所在地	静岡市清水区庵原町163番の9
	定員（共同生活援助）	9 人
	定員（短期入所）	1 人

事業所名
そ〜れ
作成年月日
令和3年6月15日

利用状況	障害支援区分、加算対象者	計画		現在		総利用者数		利用終了の理由※1
	非該当		人	人		人	1 人	
区分1		人	人		人	利用者の最短利用期間		
区分2		人	人		人	利用者の最長利用期間		
区分3		1	人	1	人	~	日	
区分4（重度障害者支援加算Ⅱ）		3	人		人	か月	日	
区分5（重度障害者支援加算Ⅱ）		3	人	1	人	利用者の最長利用期間		
区分6（重度障害者支援加算Ⅰ）		2	人		人	~	日	
行動関連項目10点以上※2			人		人	か月	日	
計		9	人	2	人	赤字が現在の人数です。		

※2. 「障害支援区分」に計上した方も含め、該当する方の人数を全て記入してください。

※1. 利用期間が最も短い方の終了理由のみを記載してください。

職員配置	配置人員	職種	実人数	常勤換算
		管理者	1 人	0.5 人
サービス管理責任者	1 人	1 人		
世話人	4 人	2.5 人		
生活支援員	6 人	2.8 人		
夜間支援体制	夜間支援従事者	7 人		
看護職員の配置	有・無 配置状況	0 人	人	

(2) 現在の利用者の内訳

利用状況	障害支援区分、加算対象者	男性					女性						
		計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
	非該当	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分2	1人	人	人	人	人	1人	人	人	人	人	人	人
	区分3	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分4 (重度障害者支援加算Ⅱ)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分5 (重度障害者支援加算Ⅱ)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分6 (重度障害者支援加算Ⅰ)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	行動関連項目10点以上※2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
利用者の障害種別			身体	人	知的	1人	精神	人					
GH外の日中活動サービスの利用人数 (サービスの内訳)	サービス種別 (就労継続支援B型、生活介護等)	1人											
	就労継続支援B型	1人											
		人											
		人											
		人											
		人											

(3) 職員の資格等

直接処遇職員（管理者・サビ管以外）の福祉介護関連資格取得、研修受講等状況（1人が複数の資格等に該当する場合、それぞれに重複カウント）

1	社会福祉士	人	11	同行援護従業者養成研修（応用）	人	22	理学療法士	人
2	介護福祉士	1人	12	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	1人	23	作業療法士	人
3	介護職員実務者研修	人	13	強度行動障害支援者養成研修（実践）	人	24	言語聴覚士	人
4	居宅介護従業者養成研修（旧ヘルパ-1級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の1級含む）	人	14	ガイドヘルパー（全身性障害）・全身性障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	人	25	柔道整復師	人
						26	保育士	人
5	居宅介護職員初任者研修（旧ヘルパ-2級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の2級含む）	4人	15	ガイドヘルパー（重度視覚障害）・視覚障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	1人	27	児童指導員任用資格	人
						28	管理栄養士・栄養士	1人
6	居宅介護従事者基礎研修（旧ヘルパ-3級相当 障害者居宅介護従業者基礎研修・居宅介護職員基礎研修・ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の3級含む）	1人	16	行動援護従業者養成研修・知的障害者移動介護従業者養成研修	人	29	調理師	1人
						30	相談支援従事者初任者研修	人
			17	保健師	人	31	サービス管理責任者等研修（分野別・基礎・実践）	人
7	重度訪問介護従業者（基礎）	人	18	看護師	人	32	児童発達支援管理責任者	人
8	重度訪問介護従業者（応用）	人	19	准看護師	人	33	その他（ ）	人
9	重度訪問介護従業者（統合）	人	20	精神保健福祉士	人	34	その他（ ）	人
10	同行援護従業者養成研修（一般）	1人	21	公認心理師・臨床心理士	人	★ 資格・研修受講者の実人数		人

2 サービスの提供内容

(地域生活支援部会)

① GH内での日中の過ごし方 (支援内容・標準日程等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>※日中別の事業所に行けない方のみご記入ください。</p> <p>利用者数 人中 人利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除や洗濯など身の回りの家事をできる範囲で職員と一緒に行う。 ・室内活動(音楽、創作表現活動、レクリエーション)等や屋外活動(ウォーキング、農作業、ドライブ、買い物、イベント参加)等。 ・ヘルパーの利用を提案したり、職員と一緒に買い物やドライブをしたりして、外出の機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、利用者が1名との事だが、活動内容が利用者の自立に向けたものになっていて良い。利用者が増えた後も個別のメニューで丁寧に対応して欲しい。 ・利用者が増えたとしても、個性を重視した過ごし方について、関係機関と十分に協議して実施してください。 ・室内活動や野外活動を個々の特性に合わせて工夫して行ってください。ヘルパーの利用の提案や外出の機会を本人の意思確認を行い増やしてください。 	<p>現在、利用者さんが2名で入居予定の方が2名になりました。個々のニーズに合わせて柔軟な対応、支援に努めたい。</p> <p>休日の外出に、ヘルパー利用を提案するなど、日常生活が豊かになる工夫と情報提供にも積極的に努める。</p>
<p>② 地域生活の支援 (地域との交流状況・外出支援の取組状況等)</p> <p>外出支援利用者 1人中 1人利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため地域のイベント活動には参加できていないが、日ごろ近隣の皆さんに挨拶することによって地域の一員と認識してもらえるように取り組んでいる。 ・個々に外出する際は、コロナ感染予防の確認を行い、利用者の状態に合わせて見守りまたは同行する。 ・自治会に加入し、地域の清掃活動に参加したり、避難訓練に参加し災害時に備えている。 ・地域の福祉サービスや社会資源を活用して暮らしの質、充実度を保てるよう提案・支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活のメニューが具体的に示されており、良い。コロナ禍においても現状で出来る事を実施していく姿勢が見られて良い。 ・地域の一員として有事の際の地域との協力体制も意識されている様子が伺える。防災について考えられた設備を整えられていることについても評価できるが、有事の際の地域住民への資源提供なども前提にすると地域からの協力体制が得られるのではないかと。 ・災害に対する準備は十分評価できる。それに対する職員の訓練も行っていただきたい。 ・自治会に加入して地域の清掃活動に参加する事は好ましいが強制ではなく希望されて出来ると良いです。避難訓練は毎月行い命を守るようにしてください。 	<p>コロナ禍のため、地域の方と接する機会は少なかったが、日ごろの挨拶を続けることでコミュニケーションを図っていききたい。</p> <p>避難訓練については平日、休日と設定を変えながら実施していきたい。</p> <p>地域のイベント、行事、清掃活動への参加は希望者のみ、本人の自主性を大切にしている。</p> <p>地域住民の方にも活用してもらえる施設をめざしている。</p>
<p>③ 利用者とのコミュニケーション (方法と頻度、行動障害、重症心身障害、医療的ケアのある方への対応等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの利用者に適した会話(サインやジェスチャー等をふまえ)の方法をとっている。 ・また、行っているコミュニケーション方法が適しているか検証しながら探っている。 ・本人の積極的な会話を導き出すよう支援して、意思決定支援に努めている。 ・職員からの話しかけが誘導的にならないよう注意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がそれぞれに自分の役割に必要な資格を持っており、利用する側に安心感が感じられて良い。 ・利用者とのコミュニケーションについて、丁寧に行っている様子が伺える。日常的な医療的ケアのある方などについては、訪問看護・訪問医療などを活用し受け入れを検討していただけないか。 ・今後も利用者の身近な立場に立ち、客観的、専門性をもってお願いいたします。 ・研修等に積極的に参加し、支援者の研鑽を欠かさないようお願いします。 ・対応に苦慮する場合には、関係機関と共に考えるよう開かれた体制づくりを目指してください。 ・本人からの言葉が少ない方への支援は情報共有して配慮していただきたい。 	<p>医ケアの方に限らず、受け入れは何よりも「この場所で生活することが本人にとってどうか」を第一に考えます。周りの人たちの意見や都合が優先されないよう、本人を真ん中にして考慮している。</p> <p>日常的な服薬や薬を塗ったりすることは、声掛けと見守りを中心に本人の自立を促している。</p> <p>各人が自分らしく生きがいを実現させながら暮らすことができるよう支えるには、チーム支援が必要であり、関係機関との支援体制づくりはとても重要と考える。</p> <p>強度行動障害支援者養成研修を職員1名受講。</p>

④ 短期入所の利用状況（緊急時の受入状況、利用目的等も合わせて記載してください）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>月平均 延べ利用人数 6.5人</p> <p>・緊急時に本人の過度の負担とならないよう、普段からの体験的な利用を提案。将来的な入居を目的にショートステイの利用を促す。 ・ご家族の急な病気や冠婚葬祭などの際にご利用いただいているほか、ご家族・介助者の休養を目的とするレスパイト的要素の利用目的もある。</p>	<p>・利用者のみならず、ご家族の支援まで考えられており、良い。緊急対応にも前向きな姿勢が見られており、良い。 ・入所に向けた短期入所利用も積極的に行っていたきたい。 ・緊急にならないように事前に利用を促す工夫は素晴らしいので、積極的にPRをしていただきたいです。 ・普段からの体験的な利用を進めていってください。 ・緊急時の対応は大変だろうが大変期待しているのでよろしくお願いします。</p>	<p>コロナ禍のため一時期、緊急性のある方だけの利用に制限させていただいた。日頃からの体験利用の大切さを利用対象の方々にお伝えをし、緊急時のスムーズな利用活用ができるよう今後も努めます。</p>
⑤ 苦情解決の取組（苦情の内容・対応等）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>・苦情受付担当者が受け付けた情報を苦情解決責任者に報告。苦情解決責任者は苦情の要因を検証し職員間で情報と解決策を共有し、誠意をもって早急に対応に努める。 ・事業所内で解決できない苦情は、社会福祉法人静岡県社会福祉協議会の運営適正化委員会に申し出て解決に努める。</p>	<p>・苦情解決に向けた体制と仕組みが明確になっており、それを職員が理解できていて良い。 ・事業所単独での解決ではなく、関係機関とも個々の事例について丁寧に検討し、当事者に不利益とならない対応をお願いします。 ・苦情に対しての取り組み方が良い。関係機関と相談する事も必要。</p>	<p>苦情の内容を法人の理事の方々にも報告し、サービス等利用計画を行っている専門相談員の方など関係機関との検討、協議を進めます。</p>

3 その他 自立支援協議会委員・地域生活支援部会員・関係機関からの意見・要望・助言等

<p>・職員の研修等を積極的に実施してください。 強度行動障害支援者養成研修への参加。職員会議は月に一度の開催をし、勤務時間の都合などで参加できない職員には後日個別に対応している。</p>

静岡市 日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート（初回評価）

1 基本情報（令和 3年 6月 15日時点）

(1) 概要

事業所 情報	指定年月日	令和 3年 4月 1日
	法人名	社会福祉法人 明光会
	法人所在地	静岡市葵区慈悲尾180番地
	事業所名	Casa Shimizu
	事業所所在地	静岡市清水区江尻台町3-6
	定員（共同生活援助）	20 人
	定員（短期入所）	4 人

事業所名
Casa Shimizu
作成年月日
令和3年6月14日

利用状況	障害支援区分、加算対象者	計画		現在		総利用者数		利用終了の理由※1
	非該当	0	人	1	人	18 人		
区分1	0	人	0	人				
区分2	2	人	2	人	利用者の最短利用期間			
区分3	4	人	4	人	～			
区分4（重度障害者支援加算Ⅱ）	6	人	5	人	か月 日			
区分5（重度障害者支援加算Ⅱ）	6	人	5	人	利用者の最長利用期間			
区分6（重度障害者支援加算Ⅰ）	2	人	1	人	～			
行動関連項目10点以上※2			3	人	3 か月 日			
計		20 人		18 人				

※2. 「障害支援区分」に計上した方も含め、該当する方の人数を全て記入してください。

※1. 利用期間が最も短い方の終了理由のみを記載してください。

職員配置	配置人員	職種	実人数	常勤換算
		管理者	0.5 人	0.5 人
サービス管理責任者	0.5 人	0.5 人		
世話人	4 人	3.8 人		
生活支援員	5 人	3.9 人		
夜間支援体制	夜間支援従事者	2 人	1.4	
看護職員の配置	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 配置状況	0 人	0 人	

(2) 現在の利用者の内訳

利用状況	障害支援区分、加算対象者	男性					女性						
		計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
	非該当	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分1	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分2	人	3人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	区分3	人	人	人	2人	1人	1人	人	人	人	人	人	人
	区分4 (重度障害者支援加算Ⅱ)	人	1人	人	1人	2人	1人	人	人	人	人	人	人
	区分5 (重度障害者支援加算Ⅱ)	人	2人	人	1人	1人	1人	人	人	人	人	人	人
	区分6 (重度障害者支援加算Ⅰ)	人	人	人	人	人	1人	人	人	人	人	人	人
	行動関連項目10点以上※2	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
利用者の障害種別			身体	0人	知的	18人	精神	1人					
GH外の日中活動サービスの利用人数 (サービスの内訳)	サービス種別 (就労継続支援B型、生活介護等)	18人											
	生活介護	9人											
	就労継続支援B	5人											
	就労移行	1人											
	清水特別支援学校	1人											
	一般就労	2人											

(3) 職員の資格等

直接処遇職員（管理者・サビ管以外）の福祉介護関連資格取得、研修受講等状況（1人が複数の資格等に該当する場合、それぞれに重複カウント）

1	社会福祉士	人	11	同行援護従業者養成研修（応用）	人	22	理学療法士	人
2	介護福祉士	人	12	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	人	23	作業療法士	人
3	介護職員実務者研修	人	13	強度行動障害支援者養成研修（実践）	人	24	言語聴覚士	人
4	居宅介護従業者養成研修（旧ヘルパ-1級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の1級含む）	人	14	ガイドヘルパー（全身性障害）・全身性障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	人	25	柔道整復師	人
						26	保育士	1人
5	居宅介護職員初任者研修（旧ヘルパ-2級相当 ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の2級含む）	人	15	ガイドヘルパー（重度視覚障害）・視覚障害者移動介護従事者研修・外出介護従業者研修	人	27	児童指導員任用資格	人
						28	管理栄養士・栄養士	1人
6	居宅介護従事者基礎研修（旧ヘルパ-3級相当 障害者居宅介護従業者基礎研修・居宅介護職員基礎研修・ホームヘルパ-養成研修・介護員養成研修・訪問介護員養成研修の3級含む）	人	16	行動援護従業者養成研修・知的障害者移動介護従業者養成研修	人	29	調理師	1人
						30	相談支援従事者初任者研修	1人
			17	保健師	人	31	サービス管理責任者等研修（分野別・基礎・実践）	1人
7	重度訪問介護従業者（基礎）	人	18	看護師	人	32	児童発達支援管理責任者	1人
8	重度訪問介護従業者（応用）	人	19	准看護師	人	33	その他（ ）	人
9	重度訪問介護従業者（統合）	人	20	精神保健福祉士	人	34	その他（ ）	人
10	同行援護従業者養成研修（一般）	人	21	公認心理師・臨床心理士	人	★ 資格・研修受講者の実人数		3人

2 サービスの提供内容

(地域生活支援部会)

① GH内での日中の過ごし方 (支援内容・標準日程等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>※日中別の事業所に行けない方のみご記入ください。</p> <p>利用者数 人中 人利用</p> <p>現在は入所者全員一般就労、事業所に通っている。どこへも通所できない場合は、周辺へ散歩（歩行、体力づくり）、1Fフロアで作業・手先訓練や知育玩具を使用して活動。本人が好きな音楽をかけてリトミックを行い、身体を動かす運動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開設したばかりで、ほぼ定員を満たしているのは素晴らしい。日中活動についても明確に決定されており、GHで日中過ごすことになっても安心感がある。 ・法人としての障害者支援の長年の経験を活かしGH内での活動も充実されているように見受けられる。 ・日中をGHで過ごす場合、活動が「訓練」にならないように配慮が必要。GHでどんな生活・暮らし方がしたいのか、丁寧なアセスメントから本人が希望する活動が見えてくると思います。 ・日課表があるとわかりやすくてよろしいかと。 	
<p>② 地域生活の支援 (地域との交流状況・外出支援の取組状況等)</p> <p>外出支援利用者 18人中12人</p> <p>買い物支援、通院先までの付き添い、余暇支援移動支援の申請はしているが、ヘルパーの絶対数が足りておらず、土日に至っては、申し込んでも受けてもらえないのが現状。生活介護や就労継続支援B型の事業所を休んで、平日に利用するしかないということが、果たして本人のニーズと合っているのか、疑問に感じる。通所先を休ませてまで移動支援を利用する矛盾を感じる。世話人が連れて行くしかないが、土日は人員的にも厳しい状況。(重度、軽度)</p> <p>自立度が高い利用者については、外出届を書いてもらい、ルールを決め、外出に行ってもらう。(場所、外出時間、戻り時間、マスク着用等)</p>	<p>評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力や特性に応じた外出時の対応が明確に示されており、良い。地域課題(移動支援対応のヘルパー不足)も理解し、対応を考えられているのが良い。 ・国道沿いの立地で利便性が高い。自立度の高い方については、魅力的な環境であると感じる。セキュリティ対策も行っていただいていると思うが、支援区分の高い方などの急な行動への安全対策の充実をお願いしたい。 ・画一的な公的サービスだけでなく、地域で活動するボランティア団体や町内の民生委員さん等と交流し、利用者との関わりを広げるきっかけづくりに取り組むのも役割かと思えます。 ・職員が利用者と1対1で出掛けることを心配されているようだが、外出も欠かせない日常生活なので、研修等でスキルアップをし、積極的に取り組んでいただきたい。 ・今年度から資格要件の変更等でヘルパー不足の解消になっているのでしょうか？再度事業所に問い合わせてみたらどうか。 ・ヘルパーの問題については、引き続き課題として現場の声を挙げて頂くようお願いいたします。 ・コロナウイルス禍、工夫をしながら外出支援を継続してください。 ・外出支援は大変なご苦勞をされて取り組まれているようで頭が下がります。自立度が高い方の対応もルールを決めて行っているのは良い方法。 	<p>評価・要望・助言への対応</p>

③ 利用者とのコミュニケーション（方法と頻度、行動障害、重症心身障害、医療的ケアのある方への対応等）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>自閉傾向、こだわりの強い方には、日課表の作成（職員用と本人が視覚的に見てわかる物2種類用意する）、音（職員、周りの利用者の声のトーンやボリューム、生活音）が刺激になることもあるので、写真をラミネートしたものを活用しての落とし込み、絵カードの活用、マカトンサインの活用、ジェスチャー、筆談。</p> <p>軽度、自立度の高い利用者については、ルビを振ったルール表の作成、傾聴、面談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容が個別化されており、良い。 ・専門性のある支援内容で良い。支援に関わる職員がこの専門的支援について、共有し実践できるようになることを期待する。 ・利用者の状況に合わせたコミュニケーションの方法が工夫されている様子が伺える。 ・自閉傾向、重度障など支援区分が高い方も入居されているので、強度行動障害研修などの受講を障がい理解のために計画的に進めてほしい。 ・今後も現状の取り組みが継続されることを期待します。 ・個別性の高い対応を丁寧なされており評価できません。引き続きよろしくお願ひ致します。 ・利用者に応じた取り組みは評価できる。 	
④ 短期入所の利用状況（緊急時の受入状況、利用目的等も合わせて記載してください）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>月平均 延べ利用人数 4人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、親亡き後、GH等利用のための練習 ・虐待案件緊急一時措置対応のため ・親の入院や冠婚葬祭等ご本人を連れて行けないため短期入所利用 ・こだわりや自閉傾向が強く、個室対応の受け入れが可能な場所の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に合わせて短期入所事業を利用出来る様にしており、また、個別の対応も出来ており良い。 ・短期入所の枠も多く、介護者のレスパイト的な利用のケースや緊急時の受け入れ先として期待したい。特定の方の利用にならず多くの方が利用できるとよいと思う。 ・地域生活に求められる機能と役割を果たされていると思います。 ・重度の方も積極的に受け入れていただきたい。 ・社会の課題を理解されていて、短期入所の目的に貢献して頂いています。今後ともよろしくお願ひいたします。 ・GH利用のための練習を広めていってください。 ・緊急時の受け入れは大変期待している。よろしくお願ひしたい。 	

⑤ 苦情解決の取組（苦情の内容・対応等）	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>・手作りの食事を提供している中で、メニューによっては調理時間が異なり、提供時間に差ができてしまうことがある。配膳が中々来ず、待たされることがある。提供をスムーズに行ってほしいとの要望がご家族からあった。献立内容や手順のマニュアル化を図り、調理員、世話人、支援員、どなたが作っても、同じ時間に提供できるように改善する。</p> <p>・短期入所でご利用の利用者さんがお部屋でかける音楽の音量が大きすぎてうるさいとGH入居者からお話が出る。同じフロアにGH入居者と短期入所利用者が居る。一時的に利用する方と毎日生活をする方が混在する環境になるので、環境整備に気を支援をしていく。</p>	<p>・苦情の内容を具体的に把握できており、解決に向けて速やかな対応も出来ていて、良い。</p> <p>・入所者と一時的な短期入所者の生活空間は分かれている方がそれぞれ安定すると思われるので環境調整していただければありがたい。</p> <p>・利用者が理解できる分かりやすく丁寧な説明と対応を重ね、利用者もスタッフもストレスを溜め込まない対応ができれば、と期待します。</p> <p>・適温での配膳を心がけていれば利用者によって時差が出てしまうのはやむを得ない。しかし、メニューによって時差ができるのは事業所都合なので改善の努力に取り組んでほしい。</p> <p>・苦情解決に向けて真摯に取り組んでいる姿勢は評価できる。</p>	

3 その他 自立支援協議会委員・地域生活支援部会員・関係機関からの意見・要望・助言等

<p>・職員の研修等を積極的に実施してください。</p>
